

1 調査名称：熊本都市圏総合交通戦略策定調査

2 調査主体：熊本県

3 調査圏域：熊本都市圏

4 調査期間：平成28年度～平成30年度

5 調査概要：

平成28年4月に発生した「熊本地震」の都市交通への影響を検証し、防災面で必要な課題を整理した上で、平成27年度に策定した「熊本都市圏都市交通マスタープラン」に位置付けられた将来交通施策の確実な実現を図るため、関係機関の役割分担とともに、方面別、地域別に時間軸を考慮した実行計画を策定する。

## I 調査概要

1 調査名称：熊本都市圏総合交通戦略策定調査

2 報告書目次

(H29年度)

1. 業務概要

1-1 業務の目的

1-2 業務の概要

1-3 実施方針

2. 関連事業の組合せパターンの検討

2-1 はじめに

2-2 関連事業の組合せパターンの検討

2-3 成果指標の検討

3. 協議会運営補助

3-1 協議会の運営補助

3-2 作業部会の運営補助

4. 実行計画の策定

4-1 はじめに

4-2 候補施策の再整理

4-3 ベースとなる具体施策の設定

4-4 実行計画の整理

4-5 進捗管理個票の作成

5. 熊本都市圏東部道路施策検討

5-1 はじめに

5-2 実施方針

5-3 将来交通量推計

5-4 交差点方向別交通量の算定

6. 既存プログラムの整理

6-1 はじめに

- 6-2 事業の進捗状況の整理
- 6-3 総合交通戦略への継承・非継承施策の整理

## 7. アクションプラン取りまとめ

- 7-1 はじめに
- 7-2 都市交通マスタープラン採用データの更新
- 7-3 アクションプラン取りまとめ

(H30 年度)

### 1. 業務概要

- 1-1 業務の目的
- 1-2 業務の概要
- 1-3 実施方針

### 2. 進捗管理及び効果検証手法の検討

- 2-1 はじめに
- 2-2 進捗管理
- 2-3 総合交通戦略の施策の管理と評価方法の整理
- 2-4 進捗管理工程の整理
- 2-5 総合交通戦略としての取りまとめ

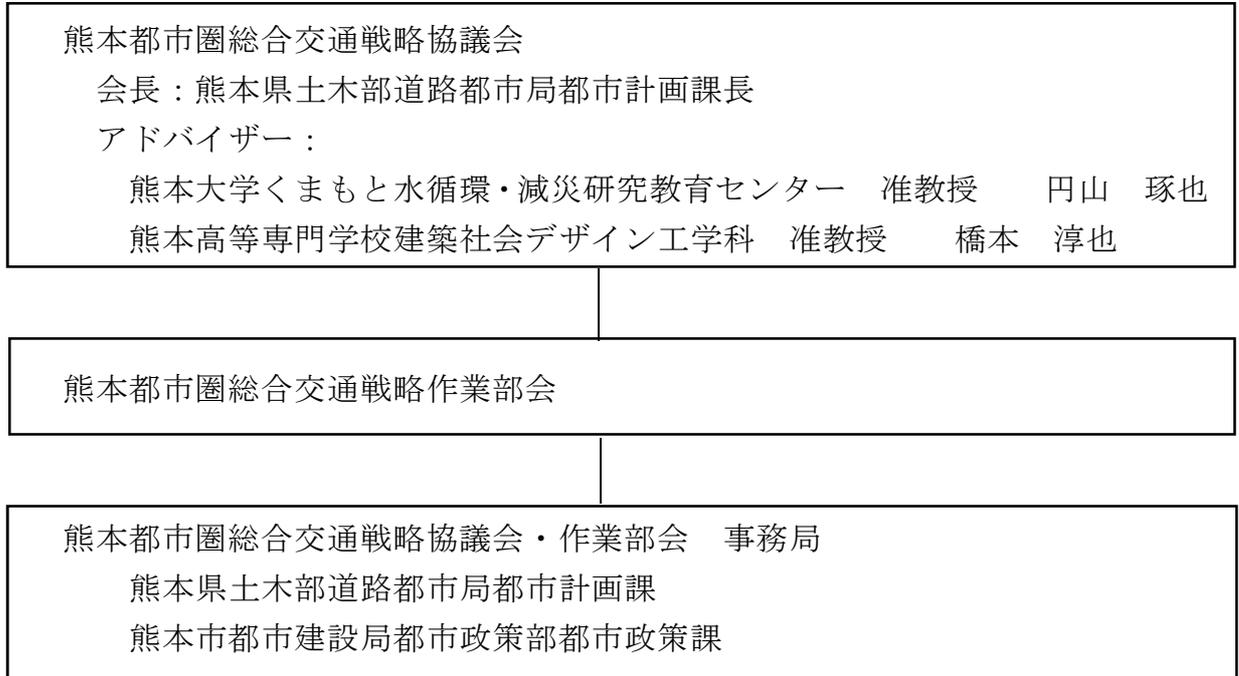
### 3. アクションプランのとりまとめ

- 3-1 はじめに
- 3-2 総合交通戦略の作成
- 3-3 とりまとめ案の作成

### 4. 協議会及び作業部会にかかる運営補助

- 4-1 協議会の運営補助

### 3 調査体制



4 委員会名簿等：

**熊本都市圏総合交通戦略協議会 委員一覧**

	所 属	委 員
国	国土交通省九州地方整備局 熊本河川国道事務所	技術副所長
	〃 九州運輸局 熊本運輸支局	首席運輸企画専門官
警察	熊本県 警察本部 交通部	交通規制課長
	〃 熊本中央警察署	地域・交通官
	〃 熊本南警察署	交通官
	〃 熊本東警察署	地域・交通官
	〃 熊本北合志警察署	交通第一課長
県	熊本県 企画振興部 交通政策・情報局	交通政策課長
	〃 土木部 道路都市局	道路整備課長
	〃	都市計画課長
市	熊本市 都市建設局 都市政策部	都市政策課長
	〃	交通政策課長
	〃 土木部	道路整備課長
関係市町村	合志市 総務部	企画課長
	益城町	企画財政課長
NEXCO	西日本高速道路株式会社 九州支社 総務企画部	企画調整課長
交通事業者	九州旅客鉄道株式会社 熊本支社	総務企画課長
	熊本電気鉄道株式会社 自動車事業本部	乗合事業部長
	九州産交バス株式会社 営業本部	営業部長
	熊本バス株式会社 自動車部	自動車部長
	熊本都市バス株式会社 管理本部	管理本部長
	熊本市 交通局	総務課長

**熊本都市圏総合交通戦略協議会 アドバイザー**

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授	円山 琢也
熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科 准教授	橋本 淳也

## II 調査成果

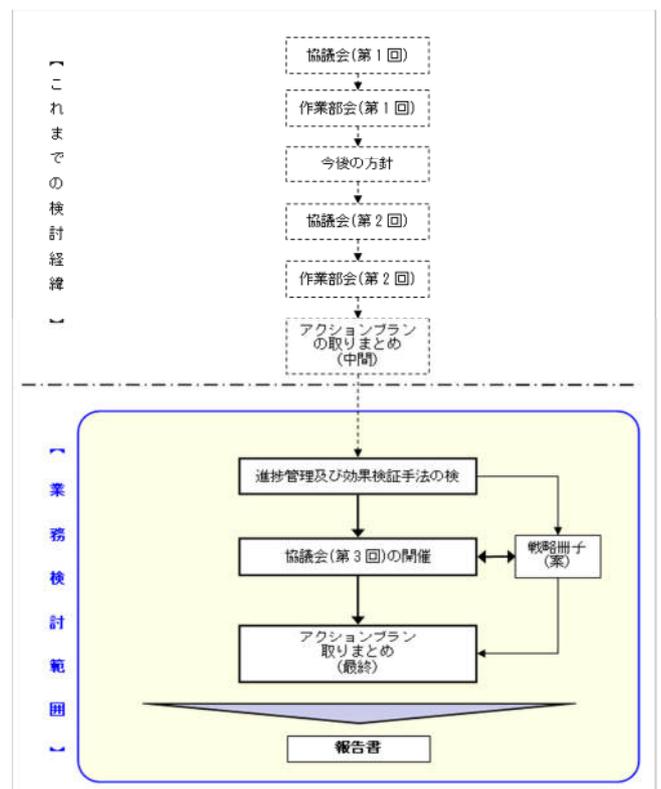
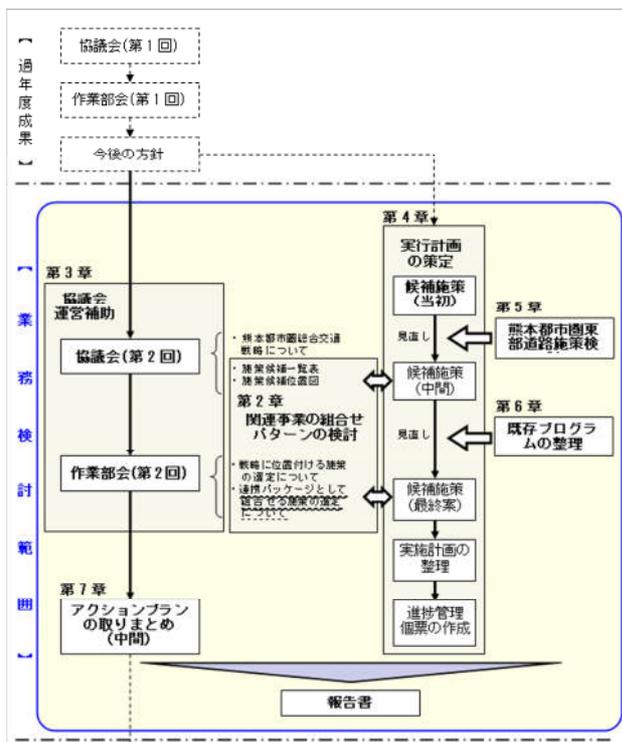
### 1 調査目的

本業務の目的は、「熊本都市圏都市交通マスタープラン（平成28年3月）」において明らかにされた都市交通ネットワークの「望ましい姿（ビジョン）」の実現をめざし、提案された施策を戦略的に推進するために、施策に基づく事業の具体的な取り組み方を示す「熊本都市圏都市交通アクションプラン（実行計画）」を策定するものである。

### 2 調査フロー

(H29 業務)

(H30 業務)



### 3 調査圏域図



## 4 調査成果

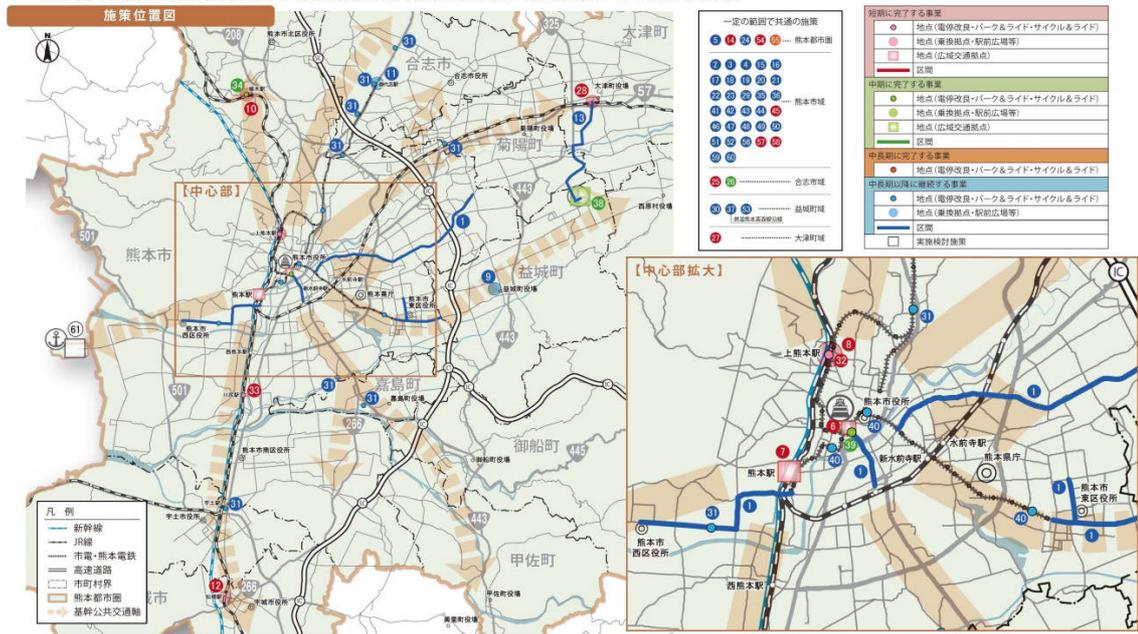
### 実行計画の策定

基本施策「公共交通」「道路」「まちなか交通」毎に、各施策の実施主体、実施時期等を整理して、実行計画としてとりまとめた。

#### <施策とりまとめの例>

##### 1-1. 公共交通

「公共交通」の実施策を次の通り整理しました。持続可能で利便性が高く、災害時に早期に機能復旧する公共交通ネットワークの形成を図ります。



##### 実施施策

基本施策区分	No.	施策名	実施主体・関係者	実施時期			
				短期 2018年度	中期 2019年度	中長期 2020年度	以降 2021年度
①基幹公共交通の 定時性、速達性、 輸送力の強化	1	路線電車の延伸の検討・実施	熊本県				
	2	路線電車の輸送力の向上	熊本県				
	3	路線電車の軌道整備	熊本県				
	4	快速バスの導入検討	熊本県				
	5	バス優先・専用レーンの導入検討	熊本県				
	6	広域交通拠点：(仮称)熊本駅前バスターミナルの整備	熊本県				
	7	広域交通拠点：熊本駅白川口バスターミナルの整備	熊本県				
	8	交通結節点の整備(上熊本駅前広場)	熊本県				
	9	交通結節点の整備(益城町 不出地区)	熊本県				
	10	交通結節点の整備(熊本駅前広場)	熊本県				
	11	交通結節点の整備(熊本駅前広場)	熊本県				
	12	交通結節点の整備(益城町駅前広場)	熊本県				
②バス路線網の再編	13	空港アクセスの改善(空港ライナー)	熊本県				
	14	空港アクセスの改善(空港システム)の検討	熊本県				
	15	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(熊本方面)	熊本県				
	16	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(合志・荒尾方面)	熊本県				
	17	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(益城・大津方面)	熊本県				
	18	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(長峰方面)	熊本県				
	19	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(益城・空港方面)	熊本県				
	20	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(高島方面)	熊本県				
	21	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(守土・宇城方面)	熊本県				
	22	バス路線再編と交通結節点整備の検討・実施(田崎・城山方面)	熊本県				
③コミュニティ交通の 拡充	23	環状線の機能強化検討・実施	熊本県				
	24	環状線の改善	熊本県				
	25	合志駅と御代志駅を結ぶバス路線の実証実験	熊本県				
	26	御代志駅と合志駅を結ぶバス路線の再開	熊本県				
	27	路線バスの利用促進の効率化に向けた見直し	熊本県				
	28	熊本駅前・御代志駅間の強化(路線バス等各交通モードの乗り入れ)	熊本県				

基本施策区分	No.	施策名	実施主体・関係者	実施時期			
				短期 2018年度	中期 2019年度	中長期 2020年度	以降 2021年度
④公共交通の利用 促進、防災力の 向上	31	パーク＆ライド駐車場の拡大	熊本県				
	32	サイクル＆ライド用の駐輪場整備(上熊本駅)	熊本県				
	33	サイクル＆ライド用の駐輪場整備(川尻駅)	熊本県				
	34	サイクル＆ライド用の駐輪場整備(熊本駅前)	熊本県				
	35	サイクル＆ライド用の駐輪場整備(交通結節点)	熊本県				
	36	サイクル＆ライドの推進	熊本県				
	37	サイクル＆ライド用の駐輪場整備(益城町・熊達熊本高森線沿線)	益城町				
	38	広域交通拠点：熊本空港ターミナルの整備	熊本県				
	39	電停の改良(車輪磨き)	熊本県				
	40	電停の改良(車輪磨き)	熊本県				
	41	主要バス停留所の改善	熊本県				
	42	バスの待合環境の向上(商業施設等への「バスまち」の設置)	熊本県				
実施検討施策	43	車道の改善(バスストップ)の導入	熊本県				
	44	車道の改善(バスストップ)の導入	熊本県				
	45	公共交通案内情報の提供(バスカーナビシステム)の導入	熊本県				
	46	バスの統一時刻表・共同路線の導入拡大	熊本県				
	47	公共交通案内情報の提供(バス路線図の作成配布、ホームページへの掲載)	熊本県				
	48	公共交通利用促進キャンペーンの実施	熊本県				
	49	公共交通機関共通カードの普及促進	熊本県				
	50	深夜バスの導入	熊本県				
	51	モビリティマネジメントの実施(住民への利用促進啓発)	熊本県				
	52	モビリティマネジメントの実施(小学生への出前講座)	熊本県				
	53	モビリティマネジメントの実施(主婦・マイカー通勤の促進)	益城町				
	54	バス乗降及び行先案内の統一(多言語対応・ナンバリング)	熊本県				
55	交通事業者の災害時における事業継続計画(BCP)の策定	交通事業者					
56	路線電車の電柱移設	熊本県					
57	車内乗客表示(OCIC)の更新(四国語表示)	熊本県					
58	路線電車運行情報の提供(ローカルシステムの導入)	熊本県					
59	路線電車運行情報の提供(国語対応路線図の作成・配布)	熊本県					
60	路線電車運行情報の提供(ホームページに路線図・時刻表の掲載)	熊本県					

## 関連事業の組合せパターンの検討

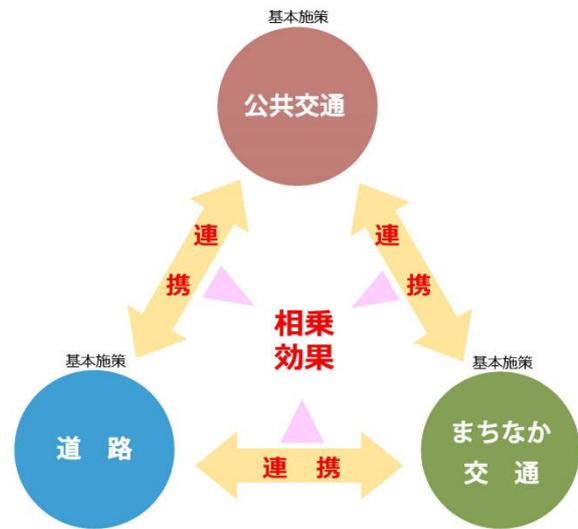
「公共交通」「道路」「まちなか交通」に位置付けた基本施策を、横断的・戦略的に組み合わせることで相関的・相乗的に効果を発揮する施策をパッケージ化し、それらを一体的に推進する取組みをまとめた。

### <基本施策の目標>

<b>公共交通</b>	<p>&lt;戦略目標&gt; 持続可能で利便性が高く、災害時に早期に機能復旧する公共交通ネットワークの形成</p> <p>&lt;主な課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通の利便性向上による公共交通利用への転換</li> <li>●災害後も早期に機能復旧する公共交通機関の確保</li> <li>●広域交通拠点の防災性向上</li> </ul>
<b>道路</b>	<p>&lt;戦略目標&gt; 都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援する骨格幹線道路網の形成</p> <p>&lt;主な課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人流・物流交通を支援する骨格幹線道路網の形成</li> <li>●自動車の低速度走行の改善</li> <li>●緊急輸送道路の強靱化</li> </ul>
<b>まちなか交通</b>	<p>&lt;戦略目標&gt; 高次都市機能を有する中心市街地等の拠点性・アクセス性及び防災性の向上</p> <p>&lt;主な課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中心市街地における拠点性の向上</li> <li>●安全で快適な歩行空間及び自転車走行空間の確保</li> <li>●広域交通拠点の防災性向上（再掲）</li> </ul>

### <連携パッケージのイメージ>

■連携パッケージの取り組みイメージ



### <連携パッケージの事例>

#### 主要地方道熊本高森線の4車線化と益城町の交通結節点整備イメージ図



## 成果指標の検討

総合交通戦略の効果確認を行うため、基本施策の戦略目標と、平常時と防災時の視点を踏まえた成果指標を設定した。

### < 成果指標一覧 >

#### ■ 成果指標の目標値

視点	NO	区分	指標名	2015年 H27	2025年
平常時の 視点	1	公共交通	公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	83.9%	83.9%
	2	公共交通	公共交通機関の年間利用者数	55,436千人/年	54,708千人/年 ※
	3	公共交通	日常的に公共交通機関を利用する住民の割合	47.5%	50.0%
	4	道路	渋滞時における自動車の平均旅行速度	23.1km/h	28.0km/h
	5	道路	インターチェンジの日平均出入交通量	490百台/日	520百台/日
	6	まちなか交通	中心市街地の通行量 (調査日(平日・日曜)2日間の合計)	695,892人	758,000人
	7	まちなか交通	自転車駐輪場における日当たり平均利用台数	5,250台/日	5,250台/日
	8	公共交通 まちなか交通	JR熊本駅の乗降客数	29,114人/日	33,114人/日
	9	公共交通 道路 まちなか交通	都市機能が充実して安全・快適と感じる住民の割合	47.2%	47.2%
	10	公共交通 道路 まちなか交通	死傷事故件数	4,578件/年	減少
防災の視点	11	公共交通	公共交通事業者によるBCPの策定又は既存BCPの強化の数	—	6事業者
	12	道路	九州主要都市間ダブルネット ワーク確保	—	18.5km ・放射、環状道路 の整備延長
	13	道路	緊急輸送道路の防災機能の強化	—	8.0km ・無電柱化延長
	14			—	耐震化した橋の増加 ・耐震化橋梁数
	15	公共交通 まちなか交通	広域交通拠点の防災機能の強化箇所数	—	3箇所

※将来の人口動向による自然減を考慮した目標値

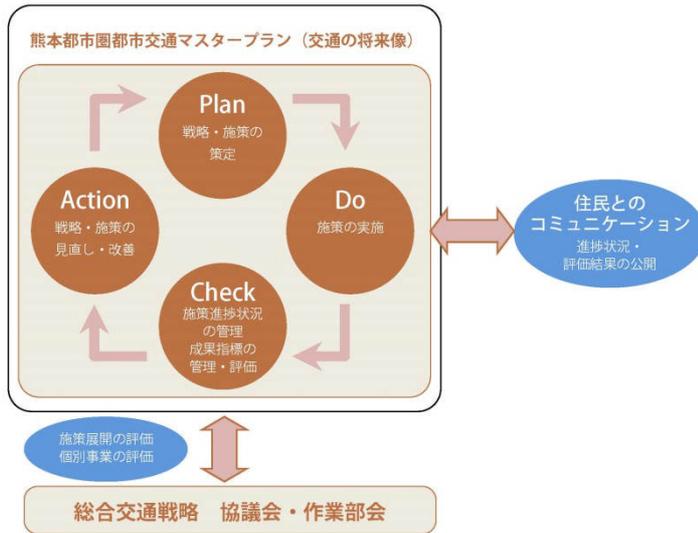
## 進捗管理及び効果検証手法の検討

将来像の実現に向けて、定期的な成果指標の達成度合いや進捗状況の確認、目標年次における効果検証を行うため、マネジメントサイクルを活用した進捗管理手法を提案した。

また、社会情勢の変化やそれに伴う新たな法制度の整備、新技術の開発・導入等が進むことが予想されることから、方針や施策については、それらの変化に適切に対応できるよう、随時見直しを実施することとした。

### <進捗管理イメージ>

#### ■推進体制のイメージ



西暦	都市交通マスタープラン 2015年度～2035年度	Plan	Do（事業の実施）				Check			Action	作業部会	協議会
		総合交通戦略	短期	中期	中長期	以降	進捗管理（施策）	成果指標管理	評価	見直し・改善		
2015年度	策定											
2016年度												
2017年度												
2018年度												
2019年度						●			●*	△	△	
2020年度	策定					●			●*	△	△	
2021年度						●			●*	△	△	
2022年度						●	●	●	●*	◎	◎	
2023年度						●			●*	△	△	
2024年度						●			●*	△	△	
2025年度						●			●*	△	△	
2026年度	次期戦略					●	●	●	●*	◎	◎	
以降												

記号の説明 ●:管理、評価の実施 ●\*:必要に応じて実施 ◎:開催 △:必要に応じて開催

